

最近、SDGsという言葉  
を頻りに聞く。言葉のひとり  
歩きではなく、SDGsの内  
容まで語れる人はどのくらい  
いるでしょうか。SDGsス  
ーパーバイザーの有資格者で  
ある私は、17ある目標のうち

## ナビゲーター

の目標8「働きがいも経済成  
長も」を取り上げ、産業カウ  
ンセリングとの関係について  
考えてみたい。

私が産業カウンセラーにな  
りたいと思ったきっかけは、  
三つある。一つ目は起業をし  
たいと考え続けてきたこと。

## 理論と実践 産業カウンセリング 私の実践

◆  
5

二つ目は自分の発達障がい  
のため。36歳の時に診断で大き  
な転期に出会ったこと。読者  
のみなさんは発達障がいと聞  
いてどんな印象を持たれるで  
しょうか。私と同じ立場の方  
たちの力になりたいと意気込  
む自分がいる。三つ目はパワ  
ハラのある職場を経験し、人  
の個性やあり方を阻害し、さ  
らには残業代の未払いなどが  
拍車をかけた現実を目の当た  
りにしたこと。体を酷使して  
まで働く従業員の生活に対す

## SDGsの目標に取り組む

る事業所の責任のなさに疑問  
を持ったことは、私に大きな  
影響を与えた。

私は、カウンセリングの身  
近な実践をしている。カウ  
ンセラーとして皆さんは、相談  
者の気持ちにどのようなよう  
にフォーカスされるだろうか。  
私の場合、実際のカウンセリ  
ングで迷走することがあり、

苦戦した。その教訓から、映  
画やテレビドラマを見て心理  
描写を読み取る機会をつくる  
よう努力をしている。共感的

理解を求められる機会は何気  
ない会話に隠れていることが  
多い。ファンタジーや恋愛ド  
ラマを意識することで童心に  
戻り、より感動や癒しを得る  
ことで受容力を高めていく。

ビジネス用語ばかりが頭にあ  
ると人間の底にある感情が見  
えなくなってしまうと考えた  
からだ。

経営者や管理職が、障がい  
者と聞いて、どう障がい者に  
対する合理的配慮義務を考え  
るだろう。合理的配慮と特別

扱いは違うことを理解しても  
らえたらうれしい。ハンディ  
を個性と捉えてもらえたら、  
質の良い労働力になる。

障がい者の中には普通では測  
れない未知の能力を発揮する  
人もいる。障害者雇用の実績  
のある会社はSDGsの観点  
からも成功し、従業員の定着  
率もよい。

私がJAICOに出会って  
まだ2年目。将来は、産業カ  
ウンセラーとして発達障がい  
者の困難を一緒に考えていく  
人になりたい。障がい者やい

わゆるグレーゾーンを生きる  
人たちに、当たり前の生活環  
境や経済力をつけてもらうの  
が私の生きがいになる。36歳

# 偏見のない共生社会を実現

まで普通の中に生きてきてお  
り、発達障がいと障がいの方との境界線をお話してみたい。その間にたち、人々お互いのノイズを取り払って、真の共存の実現を目指す。私は、等身大で自然に振舞うことにより、またレジリエンスな人間として人に与える影響を信じてみたい。SDGs達成期、限まであと8年。その間に、偏見のない共生社会が実現したら嬉しい。

【日本産業カウンセラー協会中部支部会員・国際SDGs推進協会スーパーバイザー  
木村真紀】

(火曜日に掲載)

